

目次

都市修飾法並教育的觀覽施設及其陳列裝飾法	一	煮炊き箱につきて	四一
繪の見方	八	泰西畫壇の最近運動	四六
建築の話	一五	作法につきて	五五
美術に對する理解と尊重	二	箏曲に就て	六一
黑板畫ニツイテ	二九	壁の色と室の明さ	六五
甘薯の煮える速さ	三	兒童の身體と知能との關係	六七
ガス木炭薪につき經濟上の比較	三	會費領收	八三
食物の調味につきて	三六	會計報告	八六
清涼飲料水に就いて	三六	會員の諸姉へ	八七

學術談話會家事科部會報

都市修飾法並教育的觀覽施設及其陳列裝飾法

菅野氏

私ハ將來教育ノ任ニ當ルベキ人ノ前デ、私ノ研究シテ居ル事ヲ話ス事ハ非常ニ光榮デアリマス。

演題ノ第一ノ都市ノ修飾ト云フ意ハ、市街ニ住ンデ氣持ヨク、清潔ニ美クシクスルコトデアリマス。コレハアダカモ身體ヲ沐浴シテ美クシクスルト同ジク、市街ヲ住ミヨクスル事デアリマス。

都市ト云フノハ、人間ガ永住的ニ住マン爲メニ密集スル所ヲ云フノデ、日本デハ二萬五千以上ノ人口アル所ヲ市ト云フ。ソレデ今日ハソレヲ標準トシテオ話シ致シマス。

修飾トハ、要スルニ吾人ガ目ガ有ルカラ必要ナ施設デ盲目ナラコナ必要ハナイノデス。

ナゼ私共ハ模様ノ有ル着物ヲ着ルカト云フニ、コレ目

明ニ對スル施設デアル。自分獨リナラコノ様ナ必要ハナイ。着物ハ暖カナ爲メノミデナク、人ノ爲メヲモ考ヘネバナラナイ。モシ、自分ダケノ爲メナラ、脊中ニ紋ノ必要モナク、矢ノ字ノ帶ヲスル必要モナイワケデアル。斯ノ目的ノ爲メニスルノデアリマス。ツマリ目アルガ爲メニ修飾ガ起ツテクルノデ、目ハ物ヲ見ルト同時ニ美醜ノ識別ヲスルモノデアリマス。動物ハ美クシイモノヲ見テ喜ブ様ニ自然ニ出來テキル。

例ヘバ蝶ヤ蜂ハ、花ニトマル。ナゼ花ハ美クシイカト云フニ蝶蜂ヲ招ク爲メデアル。虫媒花ハ美クシク風媒花ハ美クシクナイ。コレハ風ニ目ガナイカラデアアル。風ニ目ガ有ツタナラバ風媒花モ美クシイノデアラウ。鶯ハ梅ニ止マフテ唱フ。コレハ、彼モ美ヲ好ムカラデアアル。スベテ目ノアル動物ハ、美ヲ好ム。目ノナキノミミズノ如キハ好ンデ塵埃ノ中ニ住ム。コレハ、彼ニ目ガナク美醜ノ識別ガナイカラデ、目ガ有ツタナラコノ様ナコトハセス。目ヲ有スルモノハ幸福デアアル。

目ノ無キモノハ可愛想デアル。目ノ有ルモノハ、目ノ無キモノノ眞似ヲシテハナラナイ。

要スルニ、清潔ハ最大切デアル。ドイツノ如キハ、大戦争デ力有男子ハ戰場ニ出テ、市中ニハ女子供ノミガ殘ツテキルト云ハレテキナガラ、市中ノ掃除ノミハ男子ヲ用ヒテキル。コノ様ナ場合ニ、此様ニスルノハドイツノエライ所デアル。ダラシナイ國民ハ、清潔ニシナイ。支那朝鮮ノ如キハ是デアル。ダラシノアルト無イトハ大イニチガウ。

日本モダンダン清潔ニナツテ來タガ、マダ中々不完全ナ點ガ多イ。或温泉ノ發展ニ付相談ヲ受ケル事ガ有ルソコハ川ノ西側ニ温泉ガ有ツテ、私ガ夜ル着キ、直グ川上ニ立ツテ見ルト、アダカモベニスニ行ツタ時ノ様ナ感ガシタ。コンナ美クシイ所ノハヤラヌワケハナイ。不可思議ト思フテ、翌朝見ルト見渡ス限リゴミステ場デ有ツタ。ソコデ客足ノ遠クナツタノハ無理モナイ。私ハ第一ニゴミ掃除ヲシテ、川下ニ竹林ヲ設ケテゴミヲ片ヅケ、ソノ肥料トシタ實ニ一舉十徳トモ云フベキデ發展ウタガヒナイノデアル。

次ニ大都市ノ東京ニ付テモ清潔トハ云ハレナイ。銀座モゴミダラケデアル。外國ノ三等國ニモ無イコトデア

ル。或人ハ、長袖ハ不經濟デアルト云フ。ソレハ修飾ヲ知ラヌ人デアル。モシ振袖ノ袖ヲ取フタナラ、生命ハナクナル。振袖ハ世界一ノ美的ノ衣服デアル。

又食物ニツイテモ、三ツヲソロヘネバナラナイ。單ニ、滋養ノ上カラ云ヘバ、色形ハドンナデモヨイ、滋養アルモノヲ、鉢デコスレバヨイ事トナル。然シ、三者ヲ混合セテ、始メテ完全ナ献立トナル。家デモ、此三者ヲソナヘネバ、家相ガ善クナイ。昔シヨリ云フガコノ三ヲ兼ネレバ家相ガヨイノデアル。一ヲ缺イテモ禍ガ出來テ來ル。家相ニ對シテ、市相ト云フ字ヲ用ヒテモヨイワケデアル。市相モ、コノ三者ヲ兼ネネバナラナイ。コノ三者ヲソナヘタ市ニ住ム人ハ幸福デアル。

三者ヲソナヘネバ傳染病トカ色々ノ禍ニ會フ。日本ノ市街ハ改善シツツアルケレドモ、マダ、惡イ點ガ多イ。或市ナドハ、山ノ上ニ監獄ガ有リ、低キ所ニ公園ガアル。アダカモ、極樂ト地獄トナラムデ居ル様ナモノデアル。又或市デハ風上ニ煙ノ出ル工場ガアルノデ、市ノ松ナドハ枯レツツアリ、人ハ呼吸器病ガ多イ。又、市ノ中央ニ工場ヲマトメテアル文明國デハ、工場ハ市外ニ出シツツアル。又市内ニ在リテハ、無煙炭ヲ用ヒテキルホトナルニ、コノ様ナコトハ文明國トハ云ハレ

ル。

北海道ノ札幌ノ階樂園ト云フ所ハ、明治十四五年頃先帝陛下ノ行幸アリシ地デ、歴史上カラモ保存スベキ所ナルニ、ゴミ捨場トナツテキル。昨年九月モ行キテ注意シタガ中々改マラナイ。大坂ニハ仁徳天皇宮跡ト斷定シタ土地ガ、ゴミ捨場デ近ヨラレナカツタ。昨年八月見タ時アブヤ蠅ノ中ニ碑ガ有ツタ。ソコガ宮跡デ有ルト斷定シタ以上ハ、清ク保存セネバナラヌノニ、コノ有様ハ國ニ對スル忠心址蹟ヲ保存スル觀念ノ有ル國民デアラウカ。歴史ノ教育ハ机ノ上デノミスベキニアラズ。コノ様ナ點ニツイテコソ、最注意シナケレバナラナイ。コノ近所ニハ、二ツノ小學校ガ有ル。其生徒ニサセタナラ直チニ立派ニナル。學校デハ内デノミ教育シテ、大切ナルコトヲ忘レテキル。實ニ近眼ノ教育デアル。日本人ハゴミヲ捨テテ何トモ思ハヌ國民デアル。此點ヲ第一ニ改善シナケレバナラナイ。

都市修飾ノ三大要件ハ、第一衛生、第二便利、第三美感デ、コノ三者ヲカクコトハ出來ナイ。コレハ、衣食住共通ノ要件デ、衣服ニシテモ、單ニ、衛生上ノミナラバ白ガヨイ。便利カラ云ヘバ白イ筒袖デヨイ。然シ病人デナイ限りハ用ヒナイ、美感ノ要求ニヨルノデア

ナイ。ナゼコンナ事ガ行ハレテキルカト云ラニ、少數ノ人ノ私慾ノ爲ニシテキルノデ、コノ土地ハ日本中デ最死亡率ノ多イノニ、コノコトガ行ハレテキルノデア

ル。

又飲料水モ惡イノニカカワラズ、コンナコトヲシテキル。

都市修飾ノ要件ハ、イヅレニ似ヨリテモイケナイ。先進國ハコノ點ニ最注意シテ實行シテキル。日本ハ到ル所、不衛生デ改善セネバナラヌ所ガ多イ。馬ノ小便ヲ飲ンデ居ル所ガ、有ル三千イクラノ井ノ中飲ムベキモノハ少シヨリナイ。市ノ中ヲ川ガ通り、ソコニ不潔物ガ入ル。ソノ水ヲ、人ガ飲ンデキル。水道ノ水ヲ飲マヌ市多シ。カカル弊ヲ守ツテキル。然ルニボンペイノ市街ハ二千年ノ前ニ水道ヲ用ヒテキタ。

大正七年ニ馬ノ小便ヲ飲ム様ナコトデハイケナイ。又小學校ト避病院ト、十間ヨリ離レテキナイ土地ガ有ツタ。コレハ避病院デナイ、接病院デアル。又或所デハ公園ノ中央ニ、火藥庫ヲ設テキタ。一朝事アレバ、市民ヲ騒サネバナラヌ日本ノ都市ハ三者ヲソナヘテキナイ。病人ガ多イカラ、醫師ノ住所ニ適シテキル。又不便ナルコト大ナリ。洋服ノ時代デハナイ。洋服ヲ着

テモ足駄ヲハク時代デアアル。然シ美感上ヤムナク靴ヲ用ヒテキル。番地ノ不明、自動車ヲ入ルル道ノ少ナイ事モ不便デ、又、近頃瓦斯ノ供給モ少ナイ。要スルニ、不衛生不便ガ多イノデアアル。

市區不整然建築不整然電柱亂立烟ゴミダラケ日中肥桶横行ノ時代デアアル。不美感不潔ヲ、遺憾ナク發揮シテキル。私ガ都市美感ヲ一生ノ道樂トシタ動機ハ、ロンドンニ在リシ時、其西方郊外ニキユーガーデント云フ、世界一ノ大公園デ、ローヤルボタニツクガーデント云フ立派ナ植物園一ヶ年ノ經費三十萬圓モカカルモノガアル。ソコニ行クト、ドンナ心配事ノ有ル日、不快ナ日デモ、心ヲ洗ハレル。芝生ノ上ヲ歩ク中ニ、清淨潔白ナ身ニナツタ氣ガスル、誰デモソデアアル。コンナガーデンハ無言ノ説教所デアルト感ジタ。人殺ハ花園デ行ハレタ事ハナイ。シテ見ルト、コレヲ作ルコトハ風教上大切ナコトデアアル。人間ノ周圍ヲ美クシクスレバ、其人ハ美クシクナル。罪惡モヘル理デアアル。人間ノ住ム場所ヲ清クセントノ動機トナツタノデアアル。殊ニ、人間ヲ作ル學校ノ庭園等ハ、ココニ重キヲ置ク必要アリ。外ヲナガメテ頭ガ清クナレバ、頭ガヨクナル、善キ考ガ出ル無言ノ講堂デアアル。

ジ費用ヲ用フルナラ、モ少シ美的ニシタイ。アマリ丈夫スギル、實用スギル、何トカ仕方有リサウナモノナリ。押入カ、牢屋カワカラナイ、教室ニオケル圖書教育ヲ割引サレル。

自分ノ考ヘデハ、學校ノ庭園ハ美クシクスベキモノト思フ。然ルニ或師範學校デハ、運動場ノ外桐ノ木ヲ無數ニ植エテアル、櫻梅等ノ名木ハ、一本モナイ。戊申詔書ノ御主旨ヲ誤リ、華ヲ去リ實ニ就クト云フツモリデシタノデアアル。

學校ハ下駄屋デナイ。何デモ、美クシキモノハ、華殺風景ニスルコトガ堅實デアルト考ヘテキル。園藝圖書博物ノ先生ト相談シテ、美感ヲ表ス様ニシタイ。植物ノ方デ長方形ニスルノハ、墓ノ様ナモノデアアル。統一ト調和ヲ、計リ度イモノデアアル。市ノ仕事デモ統一ガナイ。水導科、橋梁科トモ連絡ガナイ。又或女子師範デハ、廣キ敷地ノ廻リニ、深キ堀テメグラレ石垣ヲシテ、其上ニ五六尺ノ堤ガアリ、ソノ上ニ、四五尺ノカラタチヲ植テキタ。スベテデ、一丈幾尺、マルデベルダンノ様デアアル、死金ヲカケテキルノデアアル。カラタチノ更リニツツジ又ハハギ等美クシキ植物ヲ植エルガヨイ。カラタチノ垣根ノ中デ女性美ヲ養フハ、ムヅカ

此學校ノ敷地ノ施設ニツキテハ、湯原校長ト一致スル所ガ多イ。今ソレヲキレイニスルニハ、第一ニハ塵埃ヲカタヅケルコトと樹木ノ植方ヲ建築類ヲ發揮セシメル事ト大木ノ成體美感ヲ發揮スル。大木ノ周圍ニハ空地ヲオク、地面ノ美感ヲ發揮セシムルコト、地形ニヨリ、ソレゾレ發揮スル事。日本デ一番美シイノハ札幌ノ農大ノ植物園デアアル。5見ニクキ場所ハカクス。例ヘバ、便所小便實ハ垣デカクス。ツバキ、サザンカ等ヲ用フルト、寒中ニ赤イ花ヲツケ、暖イ感ヲオコス。6周圍トノ調和ヲ計ルコト學校ノ外トノ調和ヲ考ヘネバナラス。一體ココハ昌平校ノ在ツタ場所デ、聖堂ガ中心デアツタ。聖堂トノ調和ヲ計ルベキデアアル。今ノ有様ヲ批評スルトゴミヲ聖書ノ側ニ捨テルハ今日改善スベキ第一ノ點ナリ。園藝ノ畑ノ所ハ大木ヲ植エテ風致ヲヨクシ、又防火用トセネバナラス。周圍ト調和シテ塀ノ外ノ斜面ニ植物ヲ植エルベシ。

塵埃ハ、穴ヲ堀リ、片バシヨリウメルト肥料トナル。聖堂下ゴミ捨ト便所弓射場ト近クニアルハ考ヘモノナリ。美感ニ對スル感念ナキ人ノヤリ方ナリ。聖堂ニ向ヒ、弓ヲ射ルハイケナイ、モ少シ聖堂ノ建築ヲ發揮サセル様ニセネバナラナイ。寄宿舎モ遺憾ノ點多シ。同

シイ。或女學校デ丸太ノ垣ヲ五寸オキニナシ、外ニカラタチヲ植エ柵ノ上ニ八寸釘ヲ植エタカカル中デ女性美ヲ養フコトハ出來ナイ。

都市ノ美感上ニモ、垣根ノ改良ヲ第一ニセネバナラナイ。垣根ヲ用フル必要ハ、1目カクシ、2風ヨケ、3火ヨケ、4盜ヨケナリ。1ハ見ラレテ惡イ所ヲ、見ラレナイ様ニ、體裁ヨク見ラレテ差支ナキ所ハ、ナルベク垣根ハシナイ方ガヨイ。自分デ氣持ヨキ庭園ニ垣根ヲスル必要ナシ。アマリニ露骨ニ、竊盜ヨケノ垣根ヲシタノハ、盜デナイ人ニ失禮デアアル。大多數ノ人ハ竊盜デナイ、カラ、タチ釘モ、ヨイガ露骨スギルモシ實際ニ其レガ必要ニシテモアマリニ露骨デアアル。

大小ハ護身用ナリ。モシコレヲ拔身ノマ、差シタラ、人ハ無禮物ト云フデアラウ。カラ、タチ釘ガラス鐵ノ倒立ハ、アダカモ拔身ヲ差スト同ジデアアル。ソレデ、實用ヲ露骨ニ表ハサヌ様ニシタイ。ソレガ、學校ニマデシテ有ルノハ、餘リニヒドイ。世ノ中ガ文明ニ進ムナラ、竊盜ヨケノ垣根ガヘラナケレバナラス。垣根ヲ高クスルハ、文明ニ進ム所以デナイ。最後ニ、不必要ナモノトナルベキデアアル。

テームス川邊ノロンドンヨリ、オクスフオードニ至ル

川筋ハ、物持ノ邸宅ガ多ク、岸ガ庭園デ奥ガ家デアル。其川ト庭園ノ間ニハ垣根ガナイカラ、舟デ上リ下リスルト、其庭園ガ見ラレル。自由ニ入ラレル様ニナツテキルガ、人ノ庭ニ入ル人モナイノデ、垣根ノ必要ハ無いノデアル。コレガ文明デアル、立派ナ庭園ヲ垣根デ、高ク掩フタハ決シテ、文明ニ進ム所以ナラズ、日本デモ札幌ノ大通ハ、町幅六十間デ、コレハ火防ノ爲メニ設ケタノデアルガ、コレヲ、花園ニシテ芝布ヲ敷キ美クシイ花ヲ植エテ、自由ニ市民ニ見セテアル。ソコニハ柵ハ設ケテナイガ、市民ハ誰モ花ヲトル人ハナイ。札幌ニ實現サレテ東京ニナイノハ、出来ナイノデハナイ。シナイノデアル。日本ハマダカラタチ鐵條網時代デアル。

伊勢大廟中ノ神苑中ニ、カラタチガ有ル。ココニ行ク様ナ人ハカカルモノヲ必要トシナイ。カラタチハ監獄ニ適シテキル美クシイ垣根ノ材料トシテ、南九州ニハ、金竹ト云フ竹ガアル。コレガ最適シテキルノ二年々ソレガヘリ、石垣ガフエツツアル。ココハ地震ノ大イ土地デアルカラ、竹ノ垣ハ地面ヲカタメルノデヨク、又色モ美クシク、冬ハ黄色デ暖イ感ヲオコス。コレヲナクスルハ間違ナリ、統一アル様ニ、全市同ジ高サニ申

合セテスルト大變ヨイト思フ。

北ニツイテ云ヘバ、椿楨ヒバ等ガアル、コレハ都市ノ美感トシテヨイ。鐵柵ノ上ニハ藤、石垣ノ上ニハ、ツタヲ匍ハセルガヨイ。建築ハ其地方ノ氣候風土ヨリ考ヘタノガ少ナク、其土地ニ合ハヌモノガ流行シテキル。美感上カラ云フト建築ノ色ハ、無方針ニ行ハレテキルト思ハレル位デアル。例ヘバ、北海道ハ青黒イ色デ染メテアル寒イ土地デアルノニ、コンナ色デ染メテハ、尙寒ク陰氣ニ思ハレル。

圖書教育ノ効果ガ見エヌ、モ少シ暖イ色ヲ用ヒネバナラヌ。私ハ北海道ハ幽靈色ヲシテキルト、評シタコトガアル。ソレカラ、酒田アタリハ眞黒イ色ヲ用ヒテアル。アノ邊ノ人ハ陰氣デアル、モツト、暖イ色ヲ用ヒタイ。ソレニ反シテ、九州ノ家屋ハ赤デアル。熱イ所ニ暖イ色ヲ用ヒテキルノデアル。小サイ時カラ見テキルノデ、目ガ馬鹿ニ成ツテキルノデアル。コレラノ上ニモ、圖書教育ノ効ガ有リタイ。又構造上デモ、北海道デハ、其土地ノ氣候ニ適シテイナイ。ソレデ寒イト云フテキルガ、タダストーブダケハ用ヒテキルガ、ソレニ適シテキナイノデ壁襖ガマガツテキル。コレ實ニ單衣ノ建

物ナリ。一般ニ日本人ノ住居ニハ、色ノ感念ノ薄キヲ

現ハレテキル。圖書教育ノ必要大ナリ。

此前、伊太利ノローマデ博覽會ノ有ツタ時ニドコノ國デモ冷キ色ヲ用ヒタノニ、日本ダケハ赤ヲ用ヒテ有ツタ。國民全體色ノ感念ガウスイノデアル。専門家デスラ此様デアル。

建物モ、個々別々ノ形ヲトルノデ、隣リト不調和トナル。教育博物館ト聖堂ト、隣リ合セニ有ルノハ不調和デアル。文部省ガ美醜ノ識別ヲ有シテキナイノデアル。又宇治山田ニ西洋館ヲ建テントシタコトガアル。コンナ所ニ建テルベキデナイト止メサシタ。要スルニ、建築ナルモノハ其土地ノ氣候風土カラ割出シタモノデナケレバ、ナラナイ。カクスレドヨイモノガ出来ル。松島ニホテルガ建ツタガ、一向調和シテキナイアダカモシルクハットヒタタレト云フ有様デアル。

東京デハ靖國神社ノ銅像ノ側ニ便所ガアル。コレハ、教育的觀覽施設ニアラズ。又上野ノ忠魂碑ノ側ニモ、便所ガアル。又御堀ノソバニ、辨慶橋ガアリ其側ニ便所ガアル。コレラハ、要スルニ、國民ガ美醜ノ識別ガナイノダマルデ、蜘蛛ノ如キ生活ダ。日本人ハ一般ニ空イタ所ニハ、モノヲ建テルト云フ性癖ガアルカラ、

年々殺風景ニ成リツツアル。モ少シ目ヲミガキ度イツ

イニハ風景ハナクナル。東海道ノアル都市ニ、徳川家康ノ建テタ立派ナ神社ガアル。ソコニ神社ノ風致ヲソヘル爲メニ、空地ヲ殘シテ有ツタノヲ、不經濟ダト云フテ、色々ノ物ヲ建テタ。朱色ノ門ノソバニ群青色ノ交番、ポンプ置場、物干場等ガアル。シカモソコニ、清イ川ガ流レテキル。コレハ美醜ノ識別ガナイノデアル。

兼テ六公園ハ圖書館銅像トカ建テ元ノ庭園ヲ打コワサシテキル。名園ハ名人ガ作ツタモノデアル。素人ノ手ヲツクベキモノデナイ。アダカモ、名畫ニ素人ガ手ヲ加ヘルト同ジデアル。名畫ト同ジク、其マ、保存スベキデアル。

人間ノ顔モ空地アルガ爲メニ善イノデ、人間ノ顔ノ空地ニ物ヲ建テタナラバ怪物トナル。同ジ例ハ札幌デ、御大典記念トシテ火見ヤグラヲ大通リニ建テヤウトシタ。私ハ議員ヲ集メテ、ソレヲ止メ公會堂ヲ建テル様ニシタ。山水ノ掛物ヲカケテ、其側ニ消火器ヲ置キ消火器ハ必要デアルガ、掛物ノ中央ニオクベキモノデナイコトヲ論ジ、札幌ノ中央ニ火見ヤグラヲ置クハ、コレト同ジナリ。一體スベテノ物ニハ

必要ガアル。シカシ、如何ナル必要ノモノデモ體裁ノ悪イモノハ、カクサネバナラヌコトヲトキタリ。

須田町ノ元ノ廣場ノ無クナリシコト、コレモ空地ニ物ヲ持出ス性癖カラ來タノデ、又上野公園デ博覽會ヲ開クハ、適當デナイ。人間一人ニ對シテイクラノ公園ノ坪數ニスベキカト云フコトヲ考ヘルト、二百萬ノ市民ニ對シテ、公園坪數ハ足りテキナイニカカワラズ、博覽會ヲソコデ開クノハヨクナイ。アレダケノ名所ヲ根ヲ掘ツタリ、煙ヲ出シテ、木ヲ枯ラシテキル衛生上カラモヨクナイ、コレ即チ都市修飾ノ三要件ニカナワナイ、不利益ナリト云フベキデアル。

カカル立派ナ公園ヲ博覽會ノ爲メニ用フルハモツタイナイ。新市街ヲ設ケル時ニ、役立ツ様ニ博覽會ヲ利用スルガヨイ。

日本ニハ博物館ガ少ナイ。モツト建テバナラナイ。私ハ其爲メニ、大イニ説イテキルガ、博物館ヲ建テルニハ、ソノ地方ノモノハ、其地方ニ置カネバナラナイ。ソレガ原則デアル。青森ノモノハ青森ニ、ギリシアノモノハギリシアニ、インドノモノハインドニ、日本ノモノハ日本ニ置カネバナラナイ。ソレガ原則デアル。其土地ノモノハ、其土地デ見ネバヨクワカラナイ。佐

る。マンモースと同居して居た野蠻人の中にすら繪があつた如く繪と人間とは極めて親しいものである。この題を撰んだ様なわけである。

畫家にも間違つた畫き方をしたものもあり又見る方の人にも誤まつた見方をするものが随分多い。餅屋に酒を買ひに行く様に畫家の賣らない様なものを買ひに行つて賣らないとて腹を立てゝる人が日本のみならず西洋にもたくさんある。この様に誤解のない様に餅屋は餅酒屋は酒と賣るべきを賣り買ふべきを買ふ様にする事は大切な事である。如何にしてこの説明をすべきかを考へて見るに今迄の人々が誤まつて居た事柄を一々あげて順々に説明したならばわかる事であらう。

(1) 眞にせまつて居るか否か。

よく一般の人々が繪を見て述べる批評は展覽會などへ行つて黙つて聞いてるとよくわかる事であるが其の繪がほんとうらしいかどうかと云ふ事を主として見て居る畫家の立場から見ても非常に拙劣な花の繪を見てしきりとほめて居るのはみな眞にせまつて居る事をほめるので恰も餅屋に酒の例と同じであらうと云ふべきである。昔の人の見方もこれと同様であつた事はその批評が傳説として傳つて居るのによつてわかる。支那で或畫家

藤氏ハ三十年來、石器ヲ集メテキル。コレヲ博物館ヲ建テテ入レタナラ世界的ニ誇ルベキモノガアル。秋田縣ノ佐竹家デハ、祖先傳來ノ寶物ヲ賣ルノハ非常ニ間違イシコトナリ。

グタベストニハ十六ノ博物館有リ、十六ノ中一ツハ市デ新道ヲ改築セル時、ローマ時代ノ物ヲ掘リ出シタル時、市會議員ニハカリタルニ、滿場一致ヲ以テ博物館建設ニ可決シタト云フコトデアル。

私ハ熱心ニ説イタ結果、金澤岡山等ニ出來ツツアル。忠魂碑貴德碑等ノ保存ヲ忘レテバナラナイ、仁徳天皇ノ舊跡ノゴミステノ感アル如キ、我國民ノ惡癖ヲ改善スベキヨキ例デアル。キユーガーデンノ様ニ無言ノ説教所トシタイト思フデアリマス。

繪の見方

元來繪といふものは専門家許りが見るものでなくて一般世間の誰でもが見るものであるから取立ててこの見方の説明をするのはおかしい様であるが人は一生の或時代にはペンなり筆なりを持つて繪を書いた經驗を有つて居る。故に誰でも繪かきであると云ふ事が出來

が龍をかき眼を入れたら龍が飛んで行つたとか又馬をかいたら鬼が乗つて行つたと云ふ如き日本に於ては巨勢金岡が馬をかいたら夜な夜な萩を書いた戸の所へ行つて其萩をかんだ事、探幽が鼠をかいたら猫がねらつたとか或人の書いた幽霊を女中が見て氣絶した事死人を書いたら惡臭が出たとかいふ如き又西洋に於ても書いた馬に對して生きた馬が嘶いたりかかれた葡萄を鳥が啄んだといふ様な事は繪に對してほんものらしさを望んで居た事がわかる。古今を通じて人々は繪に眞にせまる事を求めて居るが果してほんとうらしい事が繪の目的かどうかは考ふべき事である。

本物を模倣する事に於ては成る可く本物に近いがよい本物の様に、度いならば眞似をするより本物を持つて來た方がよい。何となればかいた林檎より本物の林檎の方が本物に近い。のみならずかいた林檎は食べられぬが本物は食べられるから猶一層本物の方がよくなつて來る。繪は如何に模倣が巧みでも本物には到底及ばないから眞にせまる事を望むなら實物を持つて來るがよい。丁度ビールでソースをつくる様なものでどんなに努力してもソースと全く同一のものの出來ないのと同じ事である。出來ないものを作る必要はないのでそ